

風

宮田守男
649 (現場)からの

「奥の細道」の冒頭の二節「弥生も末の七日、あけぼのの空朧々(ろろうろ)として」から、芭蕉と曾良が旧暦の3月27日に出立した(3月27日)と

新暦では、今日5月16日に松尾芭蕉が「奥の細道」の旅に出た日とされ、日本旅のペンタラフが「旅の日」に制定した日だ。年齢を重ねるごとに旅に出る意欲が減退するとの声が聞えてくる。米国の有名なビジネスマンの言葉に「それは無料だが、値段がつけられないほどの価値がある。自分のものにはできないが、使うことができ。そして、いったん、失ってしまえば、二度と取り戻すことはできない」と時間の大切さを語っている。限

りある時間だからこそ旅に積極的に出掛けてはどうだろうか。総務省が発表した4月1日時点の外国人を含む15歳未満の子どもの数が昨年より35万人少なくなったと発表。内訳は男子69.9万

人で維持可能な社会にするための施策がどうあるべきかが求められている。産経新聞が「ニセコバブル崩壊の前兆か、中国系高級リゾートが経営破綻チャイナマネーに陰り」と配信し

基本的には戸建ての独立した宿泊施設で、特にプライベート感が強い施設で周りからの視線を遮るつくり、防音に優れているなど周りの環境に影響を受けにくく、プライベート空間で友人や家族、大切な人との時間を過ごせる人気急上昇中の施設だ。また参院外交防衛委員会で国民民主の榛葉幹事長が「ニセコ町では、ラーメン一杯2000円、カツ丼3000円、お茶のおかわり5000円」とインバウンド価格の異常さを述べた。大型開発の進

観光開発バブル崩壊への意識が大切だ

む大北地域でも建設費の投資が回収できるのか難しい局面が予想される。そのためには地域全体での地域振興の在り方と地域住民の共通した認識による取り組みが求められている。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)



地域の水路整備で、今冬の豪雪による倒木被害の実態に驚く